

# エシカル消費で未来が変わる!

## 私たちの社会が抱える課題

私たちの生活を彩る便利な商品やサービスを、誰がどのように作っているかを知っているでしょうか。実は世界の子ども10人に1人が児童労働に従事しており、カカオやコットンなどの生産で児童労働が起こっているとされています。遠い途上国で子どもが働くことにより作られたカカオやコットンは、チョコレートや衣服に生まれ変わり、私たちの生活の一部になっています。児童労働は、子どもが自分の力で命を守り将来を切り拓く可能性を妨げ、未来を奪うと言われていますが、その事実にも私たちが関わっているかもしれないのです。

児童労働以外にも、気候変動、生物多様性の減少など、私たちの社会は多くの課題を抱えています。

2022年にパキスタンで発生した大洪水により、国土の3分の1が水没し、1,500人近くが亡くなりました。この災害は、地球温暖化が原因でモンスーン時期の降雨量が増加したために発生しました。このような気象災害は増加しており、過去50年間で5倍になっています。生物多様性も危機的状況です。環境NGOのWWFは、1970年と比べると約70%も生物多様性は減少していると報告しました。

大量生産・大量消費も大きな課題です。現代社会では多くのモノが簡単に手に入りますが、この大量生産・大量消費社会は大量廃棄や資源の枯渇、気候変動や生物多様性の減少などの弊害も生み出しています。

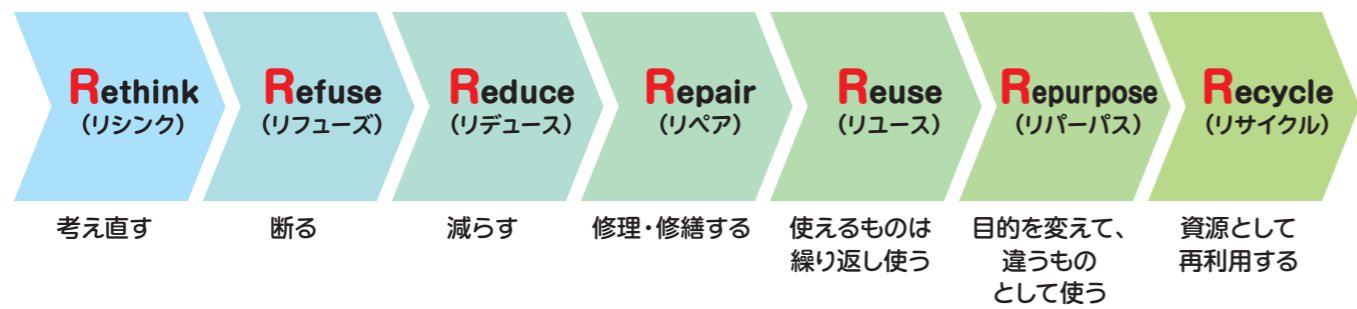
## エシカルを通して変わる消費と生活

これらの社会課題に対して生活者ができることが「エシカル消費」です。エシカルとは倫理的という意味で、エシカル消費は地域の活性化や雇用なども含む、人権・社会・地球環境に配慮した商品やサービスを選ぶことです。目の前の商品がどのように作られて、自分は何を選んでどう使っていくか、モノの過去・現在・未来を考えて選択することがエシカル消費ともいえます。「買い物は投票」と言われるように、消費は企業に対する意思表示であり、大きな力になります。消費者が求めていると

分かれば、企業もエシカルな商品・サービスを積極的に提供するでしょう。

エシカルな暮らし方の実践では、7Rを取り入れることが有効です。Rethink (モノがいるかどうかを考え直す)、Refuse (いらないときは断る)、Reduce (モノの消費量を減らす)、Repair (修理・修繕する)、Reuse (使えるものは繰り返し使う)、Repurpose (目的を変えて、違うものとして使う)、Recycle (資源として再利用する)。既に取り入れているものもあるのではないのでしょうか。

### エシカルな暮らしのヒント 7R



## エシカルな商品の見極め方

エシカル消費は幅広い分野にわたります。どこから始めれば良いかわからないときは、認証マーク付きの商品を選ぶことがお勧めです。例えば、国際フェアトレード認証は、開発途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に購入することにより、立場の弱い開発途上国の生産者や労働者の生活改善と自立を目指す仕組みです。実は生活に身近なパーム油の持続可能性に配慮したRSPO認証や、水産資源と環境に配慮した持続可能な漁業で獲られた水産物に付けられるMSC「海のエコラベル」などもあります。スーパーやコンビニなど身近なお

店でも、これらの認証マークを見る機会が増えています。

認証マークが付いていなくてもエシカルな商品はありますが、どうやって見つければ良いかわからない場合には、生産者の想いを知ることも有効です。ソーシャルネットワークサービス (SNS) によって、生産者の声を聞ける場が増えています。環境や人権に配慮した原材料を選んでいる、ごみが出にくい商品の設計にしているなど、それぞれのエシカルなストーリーに耳を傾けることもエシカル消費の第一歩です。

### 認証ラベルの一例



**国際フェアトレード認証**  
生産者の暮らしの改善や自立の実現、環境保護を目指し適正な価格で取引をする商品に付けられる。



**RSPO 認証**  
熱帯林の環境とそこに生息する生物の多様性に配慮し、生産者の暮らしを守る商品に付けられる。



**MSC 「海のエコラベル」**  
水産資源や環境に配慮した漁業で獲られた水産物に付けられる。

(消費者庁「みんなの未来にエシカル消費」より)

## エシカルの楽しみ方

エシカルについて知り、実践しようとするとうるさく悩みに直面するかもしれません。そんなときに仲間は心強い存在になります。家庭、学校、職場、地域コミュニティなどでエシカルについて話してみると、「実は興味がある」という人が見つかるかもしれません。それぞれの悩みや工夫、おすすめの商品やお店などを仲間に話すことによって、エシカルの楽しみ方が広がることもあるのではないのでしょうか。

エシカルな暮らしを実践して、周りに共有することで輪が広がる、それが未来を変える力になるはずですよ。



### 情報収集先の紹介



消費者庁 エシカル消費とは



一般社団法人日本エシカル推進協議会



一般社団法人エシカル協会

監修：一般社団法人エシカル協会